

技能・形態・時間	話す(発表) 個人→クラス全体 3分
この帯のねらい	日直が「自分のニュース」を英語で2～3文発表し、クラスから質問を1つ受ける。全員に順番が回る日直スピーチの帯——1年間で全員が10回以上「みんなの前で英語」を経験する。

やり方 毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

- 1 Today's newscaster is ...! Big hand!**
日直(ニュースキャスター)が前へ。拍手で迎える
- 2 Share your news in two or three sentences.**
自分のニュースを2～3文で発表(昨日のこと・最近のマイブーム)
- 3 Any questions? One question, please!**
聞いていた人から質問を1つ(キャスターが指名)
- 4 Thank you, newscaster! See you tomorrow.**
拍手で終了。次の日直へ引き継ぎ

ルール

- ・原稿を見るのはOK(ただし顔を上げる瞬間を1回作る)
- ・ニュースは小さいことでいい(I found a cat on my way home.)
- ・質問が出なかったら先生が1つ聞く(キャスターを孤立させない)

きろく やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	自分の発表日と話題	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ! 学期後半は「ニュース+ひとこと感想」(It was fun. / I was surprised.)の3文構成に。行事の翌日は「行事特集」で希望者が追加キャスターに。年度末は「今年のマイベストニュース」で締めると1年の帯が物語になる。

先生へ(この帯活動の運用)

日直スピーチを「ニュース番組」のフレームで包むと、発表の緊張が役割の演技に変わる。ポイントは質問タイム——発表しっぱなしにせず、1つの質問が「聞かれる→即興で答える」という本物のやり取りを毎日1人分作る。発表が苦手な子の日は、先生が優しい質問(Did you enjoy it?)で必ず成功体験にして返す。